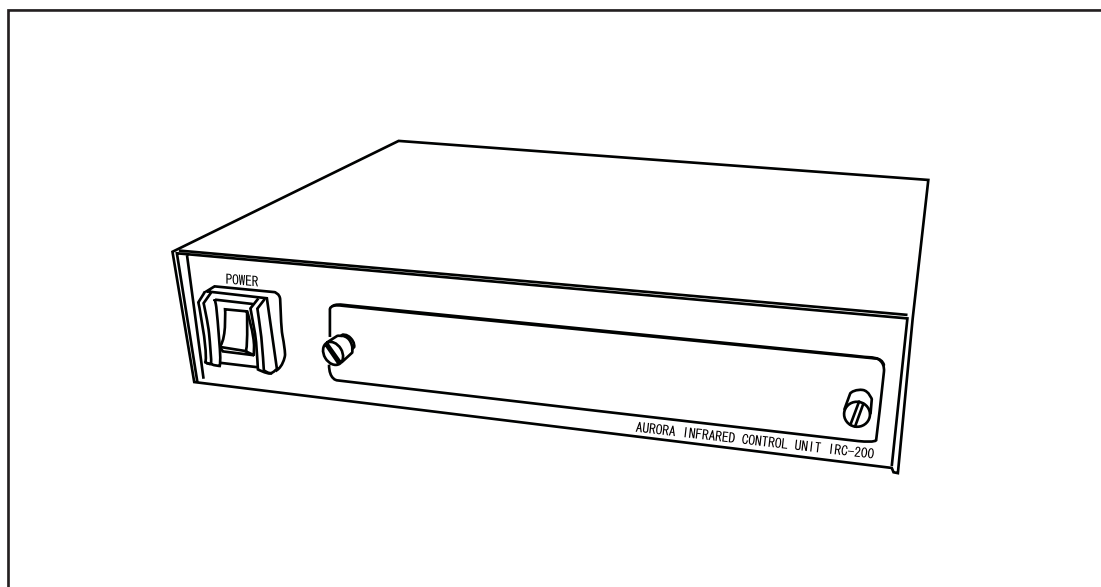


取扱説明書

赤外線コントロールユニット

I R C - 2 0 0



この度は、赤外線コントロールユニットをお買いあげいただき誠にありがとうございました。

当製品を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をお読み下さい。

また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。

なお、取扱不備による事故、損傷については、当社は責任を負いませんのでご了承ください。

<仕様>

電源/電圧 AC 100V 50/60Hz

消費電力 約10W以下

外部入力 無電圧a接点/シリアル(RS-232C)

学習可能数 45アドレス

赤外線出力数 3系統

外形寸法 (W) 210×(H) 44×(D) 150mm

付属品 EIAマウント金具/ゴム足

安全上のご注意

この取扱説明書では安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するため、右図のような表示をおこなっておりますので内容をよく理解したうえで、本取扱説明書をお読み下さい。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**

この表示を無視して、誤った取扱をすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

目次

安全上のご注意.	2
各部名称と役割.	3
■ 前面.	3
■ 背面.	3
■ メンテナンスパネル内部.	4
本機の取扱いについて.	5
■ 学習の手順.	5
■ 学習したデータの赤外線出力の確認.	5
リモート端子の機能.	6
■ リモート端子ピンアサイン (アンフェノール50Pメス)	6
■ パラレルリモートの接続について.	6
■ シリアルリモートの接続について.	7
学習アドレスと赤外線出力の関係.	8

安全上のご注意

警告

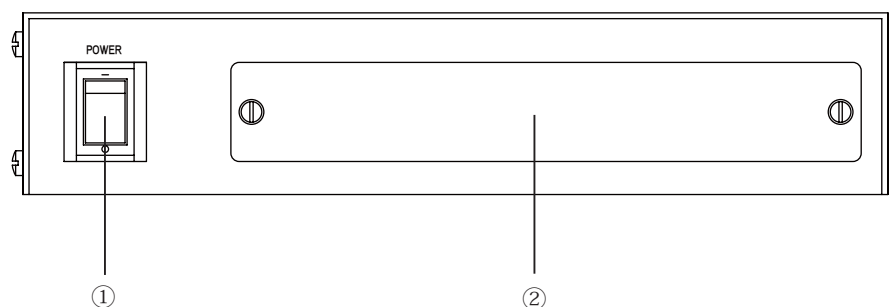
- 故障、煙や異臭、異音などしたら電源コードを抜く。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですのでおやめください。
すぐに販売店へご相談下さい。
- 改造したり、分解したりしない。
内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全では、感電や発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。
- 水をかけたり、ぬらしたりしない。
火災、感電の原因になります。

注意

- 直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所に置かない。
火災や感電の原因になります。
- 不安定な場所に置かない。
ぐらついた台の上や傾いた所など落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントを抜く。
感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く。
コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

各部名称と役割

■ 前面



① 電源スイッチ< POWER >

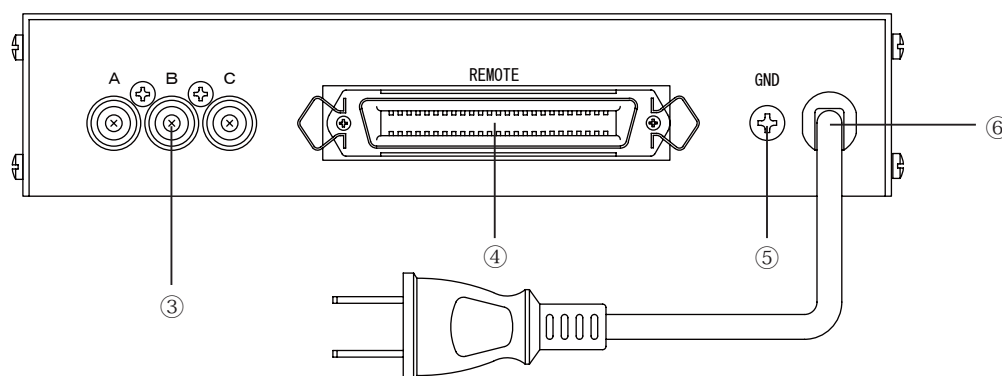
本体の電源をON/OFFするスイッチです。

スイッチ上部を押すと電源がON（スイッチが緑色に点灯）、スイッチ下部を押すと電源がOFFになります。

② メンテナンスパネル

メンテナンスパネル両サイドのネジを外すことで、各種設定スイッチが現れます。

■ 背面



③ 赤外線出力端子< A, B, C >

赤外線出力ケーブルを接続するための端子です。A～C 3系統分の出力端子が配置されています。

端子形状はRCAピンジャックを使用しています。

④ リモート端子< REMOTE >

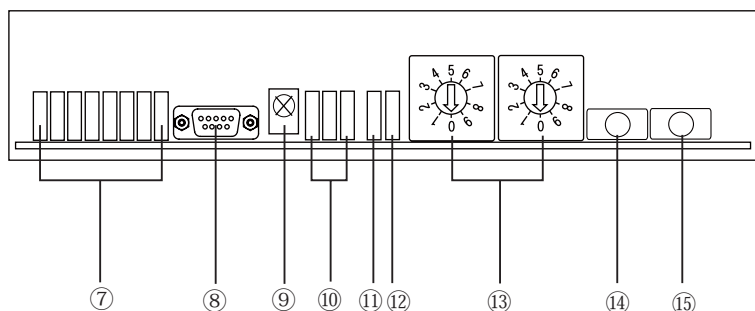
外部スイッチなどから本機をコントロールするための端子です。無電圧メイク接点と、シリアル（RS232C）のコントロールが可能です。

端子形状はアンフェノール50ピンを使用しています。

- ⑤ アース端子<G>
本機を接地するための端子です。

- ⑥ A C電源コード
このA C電源コードを家庭用コンセントへ接続すると本機へ電源が供給されます。

■ メンテナンスパネル内部



- ⑦ 本機メンテナンス用LED
本機回路の運用状態表示をするためLEDです。
- ⑧ 学習データ管理用端子
本機内に学習したデータをパソコン内にアップロード、パソコンからのダウンロードをするための端子です。
端子形状はD s u b 9 Pメスを使用しています。
- ⑨ 赤外線受光センサー
本機への学習をおこなう場合の受光部です。
- ⑩ 赤外線出力モニタLED<A, B, C>
赤外線データが正しく出力されている間赤く点滅します。左からA、B、Cの表示です。
- ⑪ 学習データ書込確認用LED<WR>
本機への学習が可能な場合にLEDが赤色に点灯します。学習データの書込みが正しく完了するとLEDが消灯します。
- ⑫ 学習データ書込・読出中LED<BUSY>
本機への学習時、データの読出し時にLEDが点灯します。点灯中は他の操作は受け付けません。
- ⑬ 学習アドレス設定用ロータリースイッチ
1～45までのアドレスで設定可能です。右側が1桁、左側が10桁の表示です。

⑭ 学習データ書込用ボタン<WRITE>

学習データ書込用スイッチを押すと学習準備状態になります。

⑮ テストボタン<TEST>

学習済みのデータをテスト送信します。アドレス設定用ロータリースイッチで指定したデータをテスト送信できます。

本機の手扱いについて

■ 学習の手順

学習をおこなうには以下の手順で操作をおこないます。

- (1) AC電源コードを家庭用コンセント(AC100V)に差し込んでください。
- (2) 電源スイッチをオン(電源が投入されている状態)にしてください。
- (3) ②メンテナンスパネルを外してください。
- (4) ⑬学習アドレス設定用ロータリースイッチのダイヤルを学習したいアドレスに設定してください。
※アドレス25へ学習する場合は、1桁設定を5に10桁設定を2に設定してください。
- (5) ⑭学習データ書込用ボタン<WRITE>を押してください。⑪学習データ書込確認用LEDが点灯します。
- (6) ⑨赤外線受光センサーに学習をおこないたい赤外線リモコンを向かい合わせにしてください。
※リモコンは本機センサー部より約5センチほどの距離をおいてください。
- (7) 赤外線リモコンのボタンを押してください。学習データの書込が正しくおこなわれると、⑪学習データ書込確認用LEDが消灯します。
※⑪学習データ書き込み確認用LEDが消灯するまで確実に赤外線のリモコンのボタンを押してください。
- (8) 学習したデータを出力確認するには、赤外線発光ケーブルを赤外線出力端子へ接続してください。

■ 学習したデータの赤外線出力の確認

- (1) ⑬学習アドレス設定用ロータリースイッチのダイヤルを出力確認したいアドレスに設定してください。
※アドレス13の学習データを出力する場合は、ロータリースイッチ10桁のダイヤルを1、1桁のダイヤルを3に設定してください。
- (2) ⑮テストボタンを押してください。
※テストボタンを押している間学習された赤外線的数据が出力されます。

リモート端子の機能

本機を外部からリモートする場合、パラレルリモート、シリアルリモートの2通りをご利用できます。

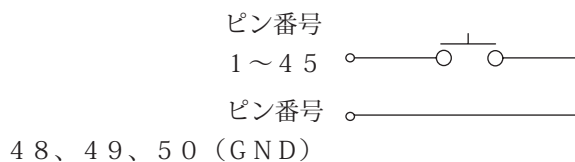
■ リモート端子ピンアサイン (アンフェノール50Pメス)

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	アドレス1	26	アドレス26
2	アドレス2	27	アドレス27
3	アドレス3	28	アドレス28
4	アドレス4	29	アドレス29
5	アドレス5	30	アドレス30
6	アドレス6	31	アドレス31
7	アドレス7	32	アドレス32
8	アドレス8	33	アドレス33
9	アドレス9	34	アドレス34
10	アドレス10	35	アドレス35
11	アドレス11	36	アドレス36
12	アドレス12	37	アドレス37
13	アドレス13	38	アドレス38
14	アドレス14	39	アドレス39
15	アドレス15	40	アドレス40
16	アドレス16	41	アドレス41
17	アドレス17	42	アドレス42
18	アドレス18	43	アドレス43
19	アドレス19	44	アドレス44
20	アドレス20	45	アドレス45
21	アドレス21	46	RxD (シリアル用)
22	アドレス22	47	TxD (シリアル用)
23	アドレス23	48	GND
24	アドレス24	49	GND
25	アドレス25	50	GND

■ パラレルリモートの接続について

ピン番号1～45をピン番号48、49、50 (GND) のいずれかとメイクすることで、外部コントロールが可能となります。外部リモートには、ノンロック型スイッチ、トランジスタ (オープンコレクタ)、リレーなど無電圧接点接続が可能です。

接点を閉じている間、赤外線データを出力し続けます。



【注意】 電圧はかけないで下さい。

■ シリアルリモートの接続について

ピン番号46、47とピン番号48、49、50（GND）のいずれかを使用することで、パソコン・マイコン等から本機をコントロールすることが可能です。

通信方式 全二重調歩同期式
通信速度 9600bps
データ長 8ビット
ストップビット長 1ビット
パリティ なし
Xパラメータ なし

□ コマンドフォーマット

コマンド	パラメータ	終端
------	-------	----

上記コマンドを本機が正常に受信したらACK（0x06）を、受信エラーなどで異常受信した場合はNAK（0x15）を返信します。

□ コマンド詳細

コマンドを出力する場合、赤外線出力オフコマンドを送信するまで赤外線出力を保持続ける保持出力と、赤外線出力を回数（最大9回）で出力するパルスの2通りの出力方法があります。

□ 保持出力コマンド詳細

- ・赤外線出力をオン 'S'（0x53）
- ・赤外線出力をオフ 'Q'（0x51）
- ・パラメータ アドレス1～45の指定
- ・終 端 CR（0x0D）

（例）アドレス4を赤外線出力する場合

オン時・・・ S（0x53）0（0x30）4（0x34）CR（0x0D）
オフ時・・・ Q（0x51）0（0x30）4（0x34）CR（0x0D）

□ パルス出力コマンド詳細

- ・赤外線パルス出力 'P'（0x50）
- ・パラメータ アドレス1～45の指定
出力回数 1～9回
- ・終 端 CR（0x0D）

（例）アドレス35を2回パルス出力する場合

P（0x50）3（0x33）5（0x35）2（0x32）CR（0x0D）

学習アドレスと赤外線出力の関係

赤外線学習アドレス1～45と出力3系統（A、B、C）は（1）のとおりになりますが、本機内部のDIPスイッチの設定を変更することで領域変更が可能です。

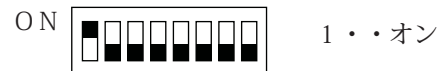
（1）

赤外線出力	アドレス
A	1～15
B	16～30
C	31～45



（2）

赤外線出力	アドレス
A	1～20
B	21～35
C	36～45



（3）

赤外線出力	アドレス
A	1～20
B	21～40
C	41～45



（4）

赤外線出力	アドレス
A	1～30
B	31～40
C	41～45



※仕様・外観は予告なく変更することがございますのでご了承ください。

販売店



株式会社 共栄商事

お問い合わせは各営業所まで

〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南 1-17-7	TEL(03)3719-2411	FAX(03)3719-2882
〒062-0903	札幌市豊平区豊平 3条1-1-40 (阿部ビル)	TEL(011)824-2811	FAX(011)824-2812
〒980-0801	仙台市青葉区木町通 1-2-12 (フレンドビル)	TEL(022)263-0963	FAX(022)263-0910
〒464-0858	愛知県名古屋市中区千種 3-30-20(柴田ビル)	TEL(052)732-7441	FAX(052)732-7477
〒540-0038	大阪市中央区内淡路町 1-1-2 (鳥羽ビル)	TEL(06)6946-1421	FAX(06)6946-1435
〒730-0051	広島市中区大手町 3-9-13 (松永ビル)	TEL(082)541-5321	FAX(082)541-5325
〒812-0015	福岡市博多区山王 1-8-35(岩瀬ビル)	TEL(092)472-3865	FAX(092)472-3866

●本社

〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南 1-17-7	TEL(03)3719-2711	FAX(03)3719-2419
-----------	-------------------	------------------	------------------